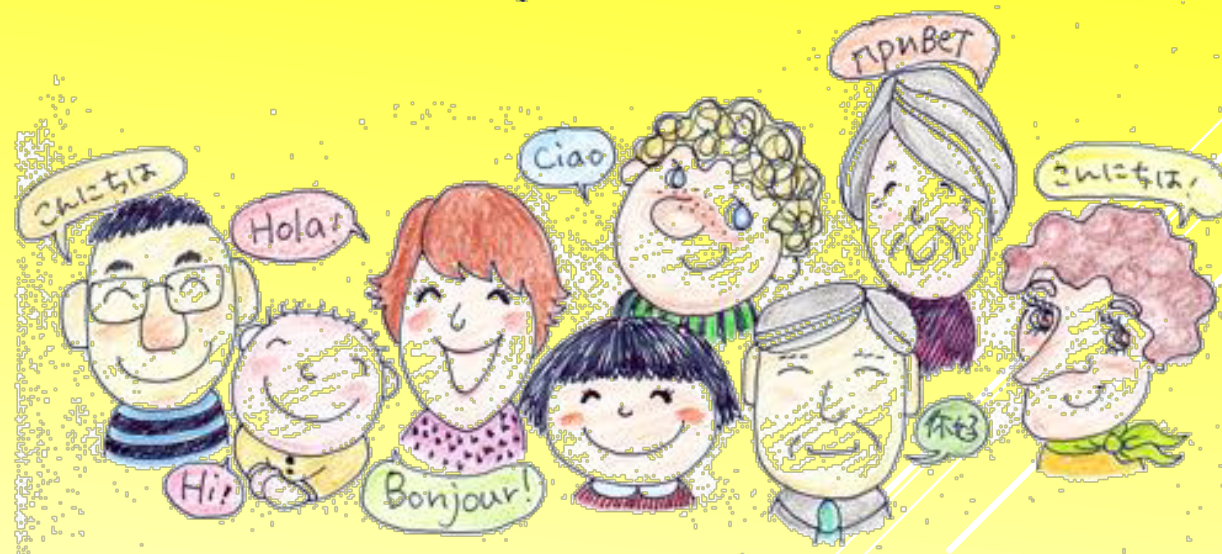


家族で参加できる多言語活動

多言語で子育て！自分育て！



一般財団法人 言語交流研究所
ヒップファミリークラブ

言語交流研究所・ヒッポファミリークラブとは

国や人種の違いを超えて、どんなことばを話す人ともコミュニケーションできるようにしたら…。

そんな思いから1981年、多言語（いくつものことば）を、自然習得（母語の習得のプロセス）するヒッポファミリークラブは誕生しました。



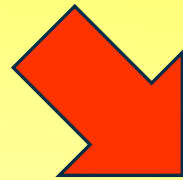
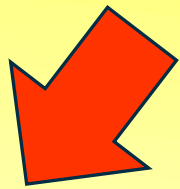
神奈川県下での活動場所は53カ所

多世代の仲間とことばを育てあう場



多言語・多世代・多様性

核家族
孤独な子育て



多世代の
仲間

多様な
価値観



親も子も混じりあって
のびのびと育てあう
コミュニティ

ホームステイ受け入れ交流

世界に広がるお友だちの輪



最近の主な受け入れ



横浜国立大学留学生（年3回）
JSPSサマープログラム
フランス柔道グループ
JICA日系社会次世代育成研修（中学生）
高校生交換留学プログラム（タイ、韓国、メキシコ他）
など

今後の活動について

今後も多言語、多世代、多様性をキーワードにして、子育て中の皆さんの交流の場を広げていきます。

2年後のオリンピック・パラリンピックは世界の人とつながるチャンス。多言語ボランティア活動の他、神奈川県下での在日外国人の皆さんをつなぐ交流やホームステイ受け入れなどの活動を進めていきます。



!!!
多言語が楽しい!

HIPPO FAMILY CLUB

一般財団法人 言語交流研究所
ヒップファミリークラブ

ヒッポファミリークラブは、 多言語の自然習得の実践を通して、 「ことばと人間」を探求しています。

どんなことばや人にも開かれた心を育てる3つの活動

詳細は中面へ▶



多言語活動

家族や仲間と
多言語が自然に育つ環境を
つくっています



国際交流

世界中の人々と
多世代によるホームステイの
交流を行っています



研究活動

「ことばと人間」について
自然科学的に
探求しています



MESSAGE | 人間のことばとは何か

ヒッポでやっているのは「外国語」ではない。同じ人間のことばの活動である。

この仕事を始めて以来、私がやってきたことはただひとつ「人間とは何か」ということを探求し続けることだった。ヒッポでは活動をしている様々な人たちがいろいろな話をしてくれる。自分ひとりでは見つけられないことも、人間にはことばがあるから人の体験を通して、ことばを話す人間とは何か、ということをも見つけることができるのである。言い換えれば、人間に一度生まれたなら、人間に生まれて良かったな、人間ってすごいな、と実感する話に耳を傾けながら、私はこの活動を続けてきただけだ。人間は音声で文字に置き換えた瞬間から、こ

とばを〇〇語、□□語というふうの外側から見られるようになり、その違いばかりに注目するようになってしまった。これが「外国語」という思想の誕生ではなかったか。ことばは全て、同じ人間のことばである。ヒッポには「外国語」というものは存在しない。

自分のこどもが生まれた時「この子が大きくなった時、世界はどんどん狭くなっていくだろう。そんな世界を伸び伸び生きていってほしい。それには日本語以外のことばもできたらいいじゃないか」。そう思ってことばの仕事をしたのは1960年代のことだ。当時英語で始めたこの活動も、今では20を超えることばの世界に広がった。ことばの数が問題なわけではない。同じ人

間が見つけることばの自然な道筋が、多言語を通してくっきりと見えてくるのである。あらゆる言語はその構成音群が見事に共鳴し、簡明な秩序でそれぞれの交響曲を奏でている。自然がどう振舞っているのか、人間のことばとは何か。皆とともに探求していく場がヒッポである。



多言語活動
提唱者
榊原 陽

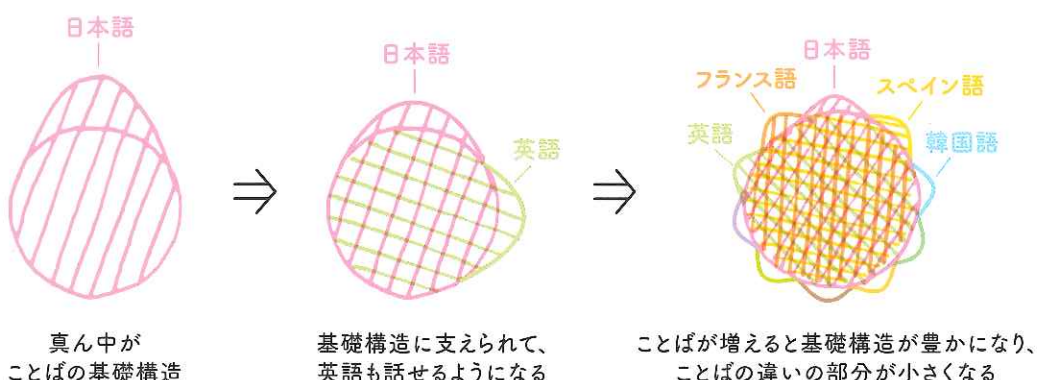
なぜ多言語？～人間のことはひとつ～

日本では日本語が話されていますが、世界にはインドやルクセンブルクなど、いくつものことばが話されている国や地域がたくさんあります。そこで育った人たちは、周りで話されている3つ以上のことばを自然に話せるようになります。本来、人間は環境のことばを誰でもいくつでも話せるようになる能力をもっているのです。

このことは、表面的な違いの背後に、すべてのことばに共通の普遍的な基礎構造があるからだと考えられます。例えば、日本に生まれた赤ちゃんが、日本語を話すようになる時、家族や周囲の人たちの日本語に触れながら、人間のことばの基礎構造が育っていきます。

5才くらいになってアメリカに移り住んだ子は、一年もすれば年齢相応の英語を話すようになります。それは日本語を習得する時に、育ったことばの基礎構造に支えられて英語が育つからです。そして同時に英語の側からも基礎構造が補強されていきます。多言語の人は、この構造がとても密になっているので、新しいことばにもとても柔軟になれるのです。

多言語活動とは、たくさんのことばに触れることを通してみえてくる「人間のことば」(言語の普遍的な基礎構造)を豊かにしていく活動です。



VOICE | 賛同者の声



“多言語を学ぶ意味”

元在米国際基督教大学財団理事長／レッドランズ大学名誉教授 大和田 康之

私がこれからを担う真のリーダーシップに必要なだと思うのは「多言語を話す」というスタンスです。多言語を話すということは、「違ったことば、価値観を持った人を受け入れる」ということ、「寛容」ということです。それは自分が人間としてより豊かになることです。ヒップではまず相手の母語を大切にしようというスタンスで多言語を育んでいます。そんな世界が広がっていくことに、ことばを学ぶことの本質的な意味があるのではないのでしょうか。



“人間の言語能力は無限”

マサチューセッツ工科大学教授／言語学 多言語獲得研究 Suzanne Flynn

一人の人が習得できることばの数に限りはありません。母語を話すことができる人なら誰でも、新しいことばを話すことができます。臨界期というような、一定の年齢を過ぎたら新しいことばを学ぶことができなくなるというものはないのです。人間の言語能力は無限です。私が考える「ことばの獲得プログラム」が、日本のヒップファミリークラブで実践されていることに大変驚き、感銘を受けました。



多言語活動

MULTILINGUAL ACTIVITIES

家族みんなで多言語に親しむ

全国約700カ所の“ファミリー”(活動場所)に、約20,000名のメンバーが所属。
アメリカ・メキシコ・韓国にも活動の輪が広がっています。

家庭

多言語[※]のマテリアルを
音楽のように流します

7つの言語を中心に物語や歌のオリジナル
多言語マテリアルを使って、いろんなことば
がいつも聞こえてくる環境をつくれます。

※スペイン語・韓国語・英語・日本語・ドイツ語・中国語・フランス語・イタリア語・ロシア語・タイ語・マレーシア語・ポルトガル語・インドネシア語・広東語・アラビア語・ヒンディー語・台湾語・トルコ語・スウェーデン語・スワヒリ語・ベトナム語の21のことばがあります。



多言語マテリアルSD/CD



多言語が聞こえる環境



多言語マテリアルのご紹介
[HIPPO公式サイト]

“ファミリー”

赤ちゃんからシニア世代まで
一緒に多言語を楽しみます

“ファミリー”はHIPPOのメンバーが定期的に
集まる場所。主宰者であるフェロウ(研究員)
を中心に、みんなで多言語を育て合います。



何語でも楽しい



大人も子ども一緒に



多言語ちびっこ登場
[YouTube]

地域

地域の国際化に向けて、講演会、
国際理解授業などを行っています

全国各地で年間2,000回の講演会やワーク
ショップの他、全国の小学校、中学校や高
校、大学からの依頼で、年間300回の国際
理解授業などを実施しています。



小学校での国際理解授業



親子で参加できるワークショップ

TOPIC

若者たちの多言語プレゼンテーション大会を開催

多言語環境で育った若者たち(15~25歳)が見つけていることを、世界に向けて多言語で発信するプレゼンテーション大会「LEX Multilingual Presentation for Youth TOKYO(LMP)」を2015年より開催。毎回約30組のプレゼンターが3言語以上で実体験に基づいたメッセージを発信します。英語だけでなくどんなことばにも心をひらいて話す、国内外の若者たちのメッセージに多くの称賛が集まっています。

多言語プレゼン
テーション
[YouTube]





国際交流

TRANSNATIONAL EXCHANGE

ことばと生活をまるごと体験

年間1,500名が約25の国や地域でホームステイ。

海外から年間120カ国、約5,000名をメンバー宅で受け入れています。

ホームステイ受け入れ

国や人種、ことばの違いを越えて
世界の人たちを迎え入れています

海外の提携団体をはじめ、外務省、内閣府、JICA、全国の大学などから依頼を受け、海外の技術研修生や留学生を年間5,000人以上受け入れています。



家族の一員として



人もことばも近くなる



ホームステイ受け入れ体験談
[HIPPO公式サイト]

海外ホームステイ

こども一人でも、家族でも
ホームステイに参加できます

小学5年生から大学生までの感受性豊かな時期に一人で海外にホームステイする「青少年交流」、大人一人でも家族連れでも参加できる「家族交流」があります。



10才からの大冒険



家族でホームステイ



青少年交流



家族交流

ホームステイ体験談
[HIPPO公式サイト]

留学・インターンシップ

夢の実現に向けた
海外長期滞在プログラムがあります

1年間、ホームステイしながら現地の学校に通う「高校交換留学」の他、「大学留学」や現地で就業体験ができる「海外インターンシップ」があります。



21カ国への高校留学



世界40カ国に広がるインターンシップ



アメリカ・高校留学体験談
[YouTube]

TOPIC

自然の中で世界の人と交流する多言語キャンプを開催

2008年より中国・上海、マレーシア、タイで「アジア青少年多言語合宿」、2014年より長野県飯山市で「多言語・雪の学校」「多言語・ネイチャーキャンプ」を開催。多言語・多文化・多世代の人々が自然の中で一緒に活動することで、国や文化の違いを越えてかけがえのない仲間になっていきます。国内外で誰もが楽しく多言語交流を体験できる貴重な機会となっています。





研究活動

RESEARCH ACTIVITIES

ことばと人間を自然科学する

各分野を代表する研究者による講座や、共同研究などを実施。

その成果をもとに、これまで延べ100万部以上の書籍を発行しています。

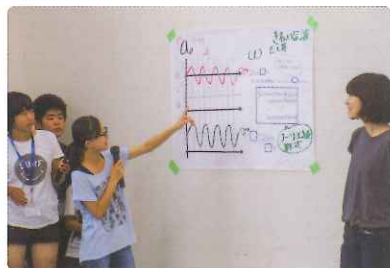
フィールドワーク

多言語活動を通じた体験をベースに
多方面での研究活動が広がっています

さまざまな研究テーマがあり、その一つが赤ちゃん研究会〈ベベフィールド〉。母語はどのように獲得されるのか子育て中のお母さんたちと一緒に赤ちゃんのことばを研究しています。



ベベフィールドの様子



数学や物理も多世代で楽しく

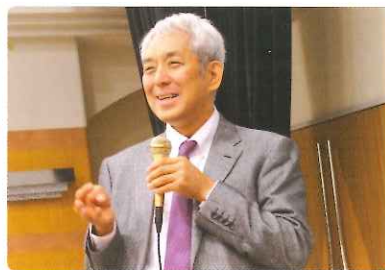


ベベフィールド～赤ちゃん研究会～
[HIPPO公式サイト]

講座

各分野の研究協力者を招いた
オープン講座を開催しています

生物・宇宙・アート・量子力学・発明・文字・世界・コミュニケーション・音楽など、分野を超えて「ことばと人間」について参加者と一緒に考えます。



電磁気学が専門の南繁行先生の講座



講座では子どもたちが大活躍



オープントラカレ講座
[HIPPO公式サイト]

書籍

「冒険シリーズ」「暗号シリーズ」
などのベストセラーを出版

数学・物理・生物学を題材にした「冒険シリーズ」は4か国語で翻訳され、発行部数は20万部超。日本語の謎に迫る「暗号シリーズ」は約80万部発行され、NHKでも特集されました。



冒険シリーズの書籍



暗号シリーズの書籍



ヒッポの書籍
[HIPPO公式サイト]

TOPIC

〈東京大学×MIT×言語交流研究所〉の共同研究を開始

東京大学の酒井邦嘉教授と米国マサチューセッツ工科大学〈MIT〉のスザンヌ・フリン教授、言語交流研究所が、2016年春より多言語に関する共同研究を始めました。2つ以上のことばを理解できることに認知上のメリットがあることは数十年前より知られていましたが、ヒッポの多言語活動に参加している人々や世界中の多言語環境で育った人々がどのような能力を持つのかを脳科学の見地から調査研究。「人間にとってことばとは何か」を解き明かしていきます。



一般財団法人 言語交流研究所 事業概要

事業目的

「ことばと人間」を研究テーマに、多言語の自然習得及び多国間交流の実践を通して、言語と人間の科学的探究を進め、国際間の理解と人類の共生に寄与することを目的としています。1981年10月に設立され、主に「多言語の自然習得(獲得)活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の3つの活動を柱とした「ヒポファミリークラブ」(会員制)の運営を行っています。家族や地域の会員とともに、様々な国のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、ともに育つことのできる環境づくりに取り組んでいます。2013年1月に一般財団法人に移行しました。東京都渋谷区に本部を置き、いかなる政治的、宗教的な団体とも関わりはありません。

組織概要

[名称] 一般財団法人 言語交流研究所 / LEX: Institute for Language Experience, Experiment & Exchange

[本部所在地] 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-2-10 青山H&Aビル 3F

構成

[代表理事]

鈴木 堅史 言語交流研究所 / LEX America代表理事

[常務理事]

平岡 一武 言語交流研究所

[理事]

岩田 誠 東京女子医科大学名誉教授 / 神経内科学

大和田康之 元在米国際基督教大学財団理事長 / LEX America理事

坂田 明 ミュージシャン

茅野 臣平 テレビプロデューサー / 元(株)長野朝日放送専務取締役

長谷川 龍生 詩人

丸山 瑛一 独立行政法人 理化学研究所名誉研究員 / (株)理研イノベーションキャピタル取締役

南 繁行 大阪市立大学複合先端研究機構特任教授 / 電磁気学

[監事]

神川 孝紀 言語交流研究所

[評議員]

塚原 祐輔 ボールウェーブ株式会社取締役

長谷川 昌弘 エステート青山株式会社代表取締役

二名 良日 野外活動家・美術家

[研究協力者(シニアフェellow)]

太田 次郎 お茶の水女子大学名誉教授 / 分子生物学

亀山 郁夫 名古屋外国語大学学長 / ロシア文学

永井 清陽 ジャーナリスト / 元読売新聞ローマ・パリ・ロンドン支局長

中村 桂子 JT生命誌研究館館長 / 生命科学理学博士

林 輝 東京工業大学名誉教授 / 精密機械工学

坂東 昌子 愛知大学名誉教授・京都大学基礎物理研究所研究協力員 / 理論物理学

山崎 和夫 京都大学名誉教授 / 理論物理学

Suzanne Flynn マサチューセッツ工科大学教授 / 言語学 多言語獲得研究

沿革

- 1981年 言語交流研究所設立 ヒポファミリークラブの多言語活動が始まる
- 1982年 青少年の海外ホームステイ交流が始まる(アメリカ・韓国)
- 1984年 トランスナショナル カレッジ オブ レックスの研究活動が始まる
家族の海外ホームステイ交流が始まる(ヨーロッパ)
- 1985年 国内受け入れホームステイが始まる
- 1997年 イヤーロングプログラム(海外高等学校交換留学)が始まる
アメリカでヒポファミリークラブの活動が始まる
- 1998年 メキシコでヒポファミリークラブの活動が始まる
- 2001年 韓国でヒポファミリークラブの活動が始まる
- 2008年 アジアの若者たちを中心とした多言語合宿(上海)が始まる
- 2012年 海外インターンシップ(WIP: World Internship Project)が始まる
- 2013年 一般財団法人へ移行
- 2014年 海外大学留学プログラム、多言語国内キャンプが始まる
- 2015年 LEX Multilingual Presentation for Youth TOKYO (LMP)が始まる
- 2016年 MIT・東京大学との共同研究「多言語習得に関わる脳のメカニズム」が始まる

お問い合わせや資料請求は下記までお気軽にご連絡ください



0120-557-761
www.lexhippo.gr.jp

受付時間
平日 9:00-17:30



一般財団法人 言語交流研究所
ヒッポファミリークラブ

本部 | 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-2-10 青山H&Aビル3F / TEL 03-5467-7041
中部 | 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5-30-1 いちご名駅ビル9F / TEL 052-581-6531
関西 | 〒540-0024 大阪府大阪市中央区南新町1-4-8 アインストーンビル4F / TEL 06-4790-7291
西日本 | 〒733-0871 広島県広島市西区高須2-2-19 / TEL 082-274-8848
九州 | 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴1-9-3-305 / TEL 092-715-3859
アメリカ・メキシコ・韓国にも支部があります